

経済指標の将来像の推計方法

(推計方法)

- ①各市区町村において2010年時点で8つの構成要素のうち最も偏差値の高い指標1つと最も低い指標1つを抽出
- ②上記指標を毎年1%ずつ増加させた場合の2020・2030・2040・2050・2060年時点の経済指標を算出

※概ね年0.3%の改善。指標の組合せは、この場合が不調な地域の改善度が最も大きくなるもの

※各指標の偏差値を算出する際の「平均値」及び「標準偏差」は、1980～2010年の経済指標を算出した際と同じ値を使用

※各指標の偏差値は特定項目の影響が大きくなりすぎないように、偏差値80以上は全て80と置換え、20以下は全て20と置換えた。

(参考)経済指標を構成する要素の伸び率

✓ 2000年から2010年にかけて、経済状況全般として悪化。構成要素全体の伸び率は、 $\Delta 0.3\%$ ／年。

○ 全市区町村平均

	製造品	小売	卸売	農業	従業者	事業所	課税所得	財政力	平均
指数	93	96	107	91	99	94	85	114	—
年当り伸び率(%)	-0.7	-0.4	0.7	-0.9	-0.1	-0.6	-1.6	1.4	-0.3